

武蔵大学図書館における資料分類法の変更について

武蔵大学図書館では、資料の分類に日本十進分類法（以下「NDC」）を採用し、文学分野の一部では本学独自分類を使用しています。

これまで NDC 新訂 7 版に基づいて分類をしておりましたが、2026 年 4 月 1 日以降に受け入れる資料は、原則として新訂 10 版に基づいて分類いたします。

【参考：NDC (Nippon Decimal Classification) とは】

日本図書館協会が編集、刊行している分類法であり、国内では、大部分の公共図書館、大学図書館が採用しています。2026 年 3 月時点での最新版は新訂 10 版です。

<NDC 改訂年>

改訂版	刊行年	本学図書館での採用状況
新訂 7 版	1961 年	1968 年～2026 年 3 月
新訂 8 版	1978 年	
新訂 9 版	1995 年	
新訂 10 版	2014 年	2026 年 4 月～

1. 分類法変更の必要性について

現在本学図書館で使用している新訂 7 版は 1961 年に刊行されたものであり、その後の社会状況の変化や新しい学問分野の出現などにもない、新訂 7 版では対応できない主題・概念が出てきました。

新訂 7 版に部分的に修正を加えながら対応しておりましたが、既に刊行から 60 年以上が経過しており、対応に限界が生じています。

2. 分類法を変更するにあたっての対応

- ① 2026 年 4 月 1 日以降に受け入れる資料から、新訂 10 版に基づいて分類します
- ② 原則として、既存資料への遡及適用は行いませんが、変更することが妥当であると判断した資料は、新訂 10 版に基づく請求記号に変更し、書架を移動することがあります
- ③ 新訂 10 版への変更後も、文学分野の独自分類を維持します
 - 対象分野：NDC の先頭 2 桁が 93、94、95、96、97、98、99 から始まる分野
 - 主な独自分類：

9□0.28	伝記（作家研究）	2 段目に著者記号を使用
9□0B	個人の作品	
9□8	2人以上の作家の作品集	

- ④ 継続中の全集・シリーズものなどで、新訂 7 版を用いた同一の請求記号を付与している場合は、原則、切り替え後もその請求記号を維持します
- ⑤ 旧分類・新分類に関係なく、請求記号順に書架に並べます
- ⑥ 分類番号の先頭 3 桁が新旧分類で異なる場合は、新旧分類の当該書架に参照表示の代本板を設置します。ただし、該当する旧分類の書架に配架されている図書が少ない場合など、状況によって代本板の挿入を省略することがあります

【参考：本学の請求記号について】

1 段目が NDC に基づく分類番号です。

2 段目は著者記号です。文学分野の一部のみで使用しています。

3 段目は受入番号です。分類番号の中で資料が受け入れられた順番を表す番号です。

930.28	← 分類番号
H436	← 著者記号(文学の一部分野のみで使用)
F26	← 受入番号

ご不明点や、資料の探し方が分からないなどお困りのことがございましたら、図書館スタッフにお問い合わせください。

武蔵大学図書館